

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

**【研究計画名】** パーキンソン症候群患者における嚥下機能と嚥下に関わる QOL の比較

**【研究責任者】** 病院 身体リハビリテーション部 言語聴覚士 中山慧悟

### 【本研究の目的及び意義】

パーキンソン病(PD)の摂食嚥下障害は50-90%にみられ、生活の質(Quality of Life:QOL)に影響を及ぼすとされています。しかしながら、パーキンソン症候群における嚥下障害がQOLに及ぼす影響については検証されておりません。また症状ごとにおけるQOLの影響についても検討がなされておりません。パーキンソン症候群における嚥下障害の症状別にQOLや自覚レベルの影響について検討することで、嚥下障害を合併する患者のどの部分にアプローチすることによってQOLの改善に繋がるか立証されることが期待されます。本研究ではパーキンソン症候群患者の嚥下障害の特徴について、嚥下造影検査(VF)所見と嚥下障害に関するQOLの観点から検討することを目的としました。

### 【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

**対象となる方：**2011年4月1日～2026年9月30日に当院に入院なされたパーキンソン病患者で、嚥下造影検査を受けられ、かつ言語聴覚療法を受けた方。また検査実施時点で20歳以上90歳未満の方。

**利用する試料・情報等：**嚥下造影検査の画像・結果、診療録(年齢、性別、罹病期間、重症度、認知機能、身体機能、肺炎既往)、質問紙表(DHI-J、SDQ-J)、食事指導内容など

**研究期間：**研究実施許可受領後～2027年3月31日まで

#### ○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 身体リハビリテーション部 氏名 中山慧悟

電話番号 042-341-2711 (内線 3308)

e-mail:stnakayama@ncnp.go.jp

#### ○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp